



～犯罪や事故からキミを守るために～

身のまわりの危険をを考えてみよう

解説はP.10参照

こんなときキミならどうする？



登下校中

1. 交通量の多い道を通るときはどうする？ 解説はP.10参照

A

信号や横断歩道をわたる。



B

車が通らないときを見はからって、近道をする。



2. 人通りの少ない道を通るときはどうする？ 解説はP.11参照

A

歩き慣れている道だから、安心して歩く。



B

不審者や後をつけている人がいないか、周囲に気を配る。



身のまわりの危険を考えてみよう

家のまわり

3. エレベーターに乗るときはどうする？ 解説はP.11参照

A

奥の壁に立つ。



B

扉が開いたらすぐに出られるように、扉に向かって立つ。



C

操作ボタンの手の届く位置に、かべに背を向けて立つ。



4. 家のカギはどこに身につけておく？ 解説はP.11参照

A

見えるところにつける。



B

カバンの中など、人目につかないところにしまっておく。



5. ドアを開けるときはどうする？ 解説はP.11参照

A

早く帰りたいから、急いで開ける。



B

不審者がいないか、周囲に気を配りながら開ける。



遊ぶとき

6. 公園で遊ぶときはどうする？ 解説はP.12参照

A



みんなでいっしょに遊ぶ。

B



ひとりでも遊ぶときがある。

7. 用水路や水辺、そのほかの危ないところは？ 解説はP.12参照

A



誰も住んでいない家のまわりで遊んだことがある。

B



用水路もみんなといっしょなら遊んでも大丈夫。

C



工事現場には近づかない。

注：この手引きにおける「不審者」とは、不審者の疑いのある者を指します。

身のまわりの危険を考えると

車から声をかけられたとき

8. 車から「雨が降ってきたから送ってあげるよ」と声をかけられた。キミならどうする？ 解説はP.12参照

(A) 車には乗らないよ。



(B) 親切な人だな。車に乗せてもらおうかな。



9. 「道に迷って困っているんだ、一緒に案内してくれない？」と声をかけられた。解説はP.13参照

(A) 知らない人の車に乗らないし、近づかないよ。



(B) 困っているんだな。案内してあげよう。



夜おそく家に帰るとき

10. 夜、歩いて帰るときはどうする？ 解説はP.13参照

(A) いつも通る道だから安心して歩く。



(B) 夜になるといろいろな危険が考えられるので、注意して歩く。

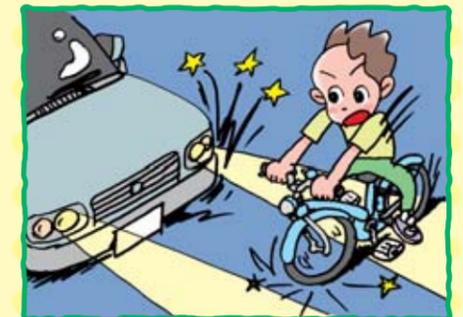


11. 夜、自転車で帰るときはどうする？ 解説はP.13参照

(A) ライトを点灯する。



(B) 家まで近しい、明るいからライトは点灯しない。



◆ 自転車に乗るときのマナー

- ・ 自転車が通行可能な歩道を走行するときは、歩行者に十分注意しよう。
- ・ 二人乗りや2台以上で並んで走ることは絶対にやめよう。
- ・ 交差点では必ず安全確認をしよう。

声をかけられたらどうする？

いかのおすし
を思いだそう

いかのおすし

- ① 「ついていかない」
- ② 「車にはのらない」
- ③ 「何かあったらおおごえを出す」
- ④ 「すぐになげる」
- ⑤ 「おとなにしらせる」

警視庁考案

こんなときは…

- おいしいおかしがあるよ
- 車でおくってあげるよ
- 急につかまれたよ
- あやしい人が近づいてきたよ
- 知らない人に体をさわられたよ

- ⇒ ついていかない
- ⇒ のらない
- ⇒ おおごえを出す
- ⇒ すぐになげる
- ⇒ おとなにしらせる





～犯罪や事故からキミを守るために～

身のまわりの危険を考えてみよう

■ねらい

身のまわりの危険について具体的なケースをもとに考え、子どもたちが犯罪・事故にあわないようにするための意識を高めます。

■進め方の例

資料配布・説明

子どもと一緒に考える

意見交換・解説

1. P.6～9をコピーして子どもたちに配ります。
2. 各設問について、子どもたちに「自分だったらどうするか」考えてもらいます。
3. 各設問について、子どもたちに「自分だったらどうするか」質問します。
4. 各設問について、**〔子どもたちへの説明〕**をもとに、わかりやすく子どもたちに説明します。
5. ★補足は、必要に応じて、子どもたちに説明します。

登下校中

1. 交通量の多い道を通るときはどうする？

事故防止

登下校中などに車と衝突する事故が起きています。

〔子どもたちへの説明〕

- 青信号を渡る、横断歩道を渡る、飛び出しはしないなど基本的な交通ルールは必ず守る。
- 横断歩道のない道路を横切るとは、絶対にやめる。
- 横断歩道では、信号が青になっても右左折車に注意して渡る。
- 歩行者用の青信号が点滅を始めると、スピードを上げてくる車があるので、無理をせず次の青になるまで待つようにする。

★補足

道路を歩くときには、次のことに注意する。

- ガードレール内を歩行する。
- 道路では、後方にも注意をして横に広がっておしゃべりしないようにする。
- 抜け道では、車がスピードを出して通り抜けることがあるので、歩行に注意する。

2. 人通りの少ない道を通るときはどうする？

防犯

人通りの少ない道では、不審者から声をかけられるおそれがあります。

〔子どもたちへの説明〕

- 人通りの少ない道は危険。ひとりで歩くときには、歩き慣れているからと安心せず、周囲に充分気を配る。
- 不審者に声をかけられやすい状況は、ひとりであるとき。なるべくひとりにならない。
- しつこく誘われても、はっきり断り、防犯ブザーを鳴らすなどして、とにかく逃げることを最優先する。

家のまわり

3. エレベーターに乗るときはどうする？

防犯

エレベーターは、扉が閉まると密室となり、危険な空間になります。

〔子どもたちへの説明〕

- 後ろから抱きつかれたりされないように、非常ベル、インターフォン、各階のボタンの押せる位置で壁を背に向けて立つようにする。
- 奥の壁にもたれかかかのように立つと、襲われたときに逃げ場がなくなり、扉に向かって立つと背後から襲われることがある。
- 知らない人と二人きりになってしまいそうなときは、乗らないようにする。

★補足

○集合住宅構内の駐車場・駐輪場、階段、踊り場、エレベーターホールは、不審者が待ち伏せしやすいので注意する。

4. 家のカギはどこに身につけておく？

防犯

〔子どもたちへの説明〕

- カギを持っているところを見られると、家が留守がちであることがわかってしまうため、かばんの中、洋服のポケットなど、カギは人目につかないところにしまっておく。

5. ドアを開けるときはどうする？

防犯

不審者に家の中に押し込まれてしまうと、非常に危険です。

〔子どもたちへの説明〕

- ドアを開けるときは不審者がいないか、周囲を見回してからカギを開けるようにする。
- 家に誰もいないときも、帰ったときは「ただいま」と大きな声でいう習慣をつける。

身のまわりの危険を考える

遊ぶとき

6. 公園で遊ぶときはどうする？

事故防止 防犯

公園によっては、トイレ、木の陰など不審者がかくれやすい場所があります。

〔子どもたちへの説明〕

- 複数で遊ぶことで不審者にねらわれにくくなる。なるべく複数で遊ぶようにする。
- 複数で遊べば、万一ケガをしても友だちに助けてもらえる。

7. 用水路や水辺、そのほかの危ないところは？

事故防止 防犯

〔子どもたちへの説明〕

- 誰も住んでいない家は、割れたガラスなどによるケガの危険、不審者によるいたずらや暴力の危険があるため、近づかないようにする。
- 用水路のような小さな水辺でも、水辺の事故は命にかかわることがあるため、遊ばないようにする。
- 工事現場には、資材が並んでいて、思わぬ事故が起こる危険がある。また、休日は外側がシートで覆われており、不審者に連れ込まれたら、人目につかないので危険。工事現場には、近づかないようにする。

★補足

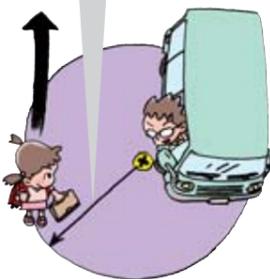
○建物の屋上は、転落事故の危険性が大きいので絶対に行かない。

車から声をかけられたとき

8. 車から「雨が降ってきたから送ってあげるよ」と声をかけられた。キミならどうする？

防犯

大人の身長以上の距離



車と逆の方向に逃げよう！

〔子どもたちへの説明〕

- 車から声をかけられたときの基本は「いかのおすし」。「知らない人についていけない」「車には乗らない」「何かあったら大声を出す」「すぐににげる」「おとなにしらせる」ようにする。
- 車からは、離れて立つようにする。

〔お願い〕

どのくらい離れたらいいのかわきにくいと思いますので、「これくらい離れたらいいよ」という距離感を、図を参考にして示してあげてください。

9. 「道に迷って困っているんだ、一緒に案内してくれない？」と声をかけられた。

防犯

〔子どもたちへの説明〕

- 「助けてあげようかな」という気持ちは大切であるが、車に連れ込まれたら大変。とにかく車には乗らないこと。逃げる気持ちが必要。
- ていねいに「すみません」といって、すぐに立ち去る。
- 大きな声で脅してくる不審者もいるので、驚かないで常に逃げる準備をしておく。

夜おそく家に帰るとき

10. 夜、歩いて帰るときは？

事故防止 防犯

11. 夜、自転車で帰るときは？

暗くなると見通しが悪くなり、犯罪・事故が起こりやすくなります。

〔子どもたちへの説明〕

- ひとりで暗い夜道を通るのは避け、家の人に迎えにきてもらう。
- ひとりで帰らなければならない場合は、次の点に注意する。
 - ①街灯が設置されている道や人通りの多い道を選ぶ。
 - ②いつも通る道でも、周囲に注意する。
 - ③路上に駐車している自動車には近づかないようにする。
- 夜、自転に乗るときは、必ずライトを点灯する。
- 夜、無灯火で進行してくる自転車に注意する。

★補足

○事故を防止するためにも自転車に乗るときのマナーは必ず守る。(P.9 参照)

大人の方ができること

暗い交差点や道には街灯などを設置して、明るくするように地域で考えていきましょう。

声をかけられたらどうする？

いかのおすし

- ①「ついていけない」
- ②「車には乗らない」
- ③「何かあったらおおごえを出す」
- ④「すぐににげる」
- ⑤「おとなにしらせる」

■子どものページ「こんなときは…」(P.9 参照)で例をあげて解説していますので、子どもたちに説明してください。
※「いかのおすし」は警視庁考案の標語で、各地の警察のホームページでも紹介しています。